

「事故起きれば古里崩壊」

原発問題「考え行動を」

22.4.19 毎日

原発の危険性を指摘し続ける元京大原子炉実験所現・複合原子力科学研究所 助教の小出裕章さんが16と17日、県内2カ所で講演した。東京電力福島第一原発事故から11年が経過した今も廃炉作業が一向に進んでいないことや、ロシアによるウクライナ侵攻にも触れながら、原発問題や戦争について一人一人が考え、行動すること

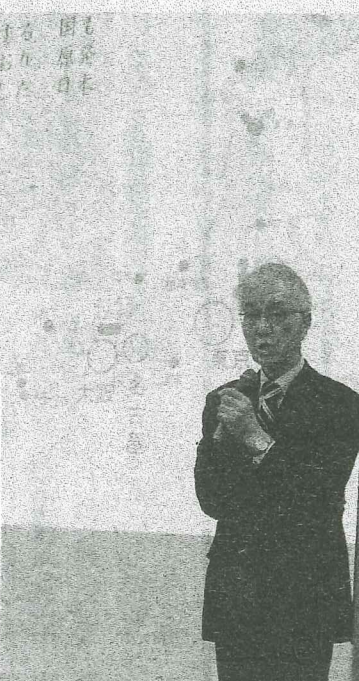
との必要性を訴えた。原子力の平和利用に夢を抱いて大学生になった小出さんは、原子力は常に犠牲と差別がつきまとうことに気づき、その危険性を長年、指摘し続けてきた。現在は長野県松本市在住。年に20〜30回、各地に足を運び、講演活動を続けている。

16日に宇都市文化会館で講演した際、主に訴えたのは、未来を担う子供たちを守り抜くこと。小出さんは「原発は、その利権を求めて産官学が一体となり、巨大な権力組織が進めた」と指摘。「先の大戦と同じ構図だ」とし、「その結果、いつも住民が苦しみ続ける。大人たちは原子力の暴走を許したが、事故の教訓を学び、子供たちを守るべきだ」と力説し、集まった約20人が聴き入った。

17日の講演は、中国電力が上関原発の建設を予定している上関町に近い田布施町の町商工会館サリシエであった。集まった約130人に対し、原発が都会になく、人口の少ない地域に立地している地図を示し、「恩恵を受けるのは都会。地方に犠牲を強いるのは不公平だ」と指摘。また、古里を追われ、生活も奪われた原発事故の実情を示し、「事故が起れば、あなたたちの古里も崩壊します」と強調した。

面会場で小出さんは原発の危険性だけではなく、「何も考えないことの危険性」も問いかけていた。講演後、取材に対し、「私たちは強いリーダーを求めたいのです。ロシアだけではなく、日本もそうではないかと語った。さらに「自分の頭で考えて行動できれば、社会は変わっていく。そして、原発事故や戦争から子供たちを守ることもできるはずだ」と結んだ。

【柳瀬成一郎】
 ※P②〜P⑥に小出さんのお話をメモから書きあがっています。
 ※資料が足りなかったのが原因でありません。このお詫言います。



原発が都会に立地していない地図を示し、「不公平だ」と断じた小出さん



元京大原子炉実験所助教

小出裕章さん 宇部・田布施で講演

■小出裕章さんが10年ぶり山口県へ来て下さりました。宇部・田布施両会場とも、大盛況でした。毎日新聞の記事です。



「田の浦へピクニックに行くの」の計画が、まーた。まーた。まーた。と体調がよくなる。遠くから来たのに帰るみたう疲れがとんどい。と言う人も居て、いっしょに不眠症なシャワーを浴せよこれ。田の浦へのお誘い。お誘い。打ち上げられたプログラムの回収もしよう。お誘い。お誘い。お誘い。

田の浦へピクニックに行こう！

2022年5月8日(日) 13:30
 場所 周南市役所シビック交流室

田の浦へピクニックに行こう！

とき 5月12日(木) 小雨決行 (大雨の場合は5月19日(木)に延期します)

時間 11:00 ~ 14:00

お弁当を持って、ワイワイ楽しく、命の海に触れながら、ビーチクリーンも少し出来たらいいですね！

初夏の海と一緒に感じてみませんか？

持ち物 お弁当 水筒 帽子 作業用手袋 その他各自必要な物
 服装 山道を歩くので動きやすい服装と歩きやすい靴



お問合わせ
 原 070-5309-1032
 河本 090-8063-4785



原発いらん！
 山口ネットワーク
 2020年4月の報告
 407号

代表者 小中 進
 〒742-1513山口県熊毛郡田布施町麻郷2208
 TEL.FAX.0820-55-6291
 振込口座(年会費2000円)
 (郵)01590-5-27469
 口座名「原発いらん！山口ネット」
 作製・印刷・発送
 「国防の自然を守る会」
 三浦 翠 外

草刈り作業にご協力を
 お願いします。
 5月7日(土)10時~12時
 田の浦に下りる道と、つどいの場のまわりの草を刈ります。
 参加いただける方は小中さんまでお電話下さい。
 090-8996-8378(小中)

■小出裕章さんの講演(4/17田布施町サリジゴを
メモカウリョウチンアミコシマシタ) (大東三浦)

○原発はただのお湯わかし装置である
私はほんとーにも上関原発を止めたいし、決して造ら
せてはならないと田布施町にいます。

「原子力発電」と同じく科学の粋を集めた高度な
システムだろうと思われるかも知れませんが、実は古の
かしい蒸気機関です。お湯を沸かして蒸気を出し、そ
の勢でタービンをまわして電気をつくるというものです。
薪で石炭でもガスでもお湯は沸かしますが、原子力発電は
その熱源にウランの核分裂の熱を使います。

厚さ16センチのコンクリートでできた原子炉の中で核分裂
させます。

○熱効率十の安い原子力発電

つづいていることはお湯を沸かして蒸気を出すだけな
のに、それが途方もなく効率が悪いのが原発です。

火力発電だと発生させた熱のうち2分の1が電気に
変わります。火力発電所は都会に作れますから、その排熱
でお湯を沸かして周辺のオフィスや住宅で使うと(これを
コージェネといいます)80%の熱が使えます。

一方原発は都会には建たれないので、コージェネはでき
ません。

原子力発電の熱効率は33%。100万kwの原発の熱
出力は30万kwです。従って100万kwの原発一基で、200万kwの
熱を環境に放出します。海水を引き込んであつめて
海に返します。こんなものを動かしてはなりません。

私の尊敬する科学者に水戸巖さんという方がいます。
彼は「原子力発電は海温め装置と呼ばない」と、私に教
えてくれ、私は目のウロコが落ちました。

○膨大な温排水の量

原発一基は毎秒70トンの海水を引き込んで、70上げて海
に返します。

山口県の小瀬川とか佐波川とかいう川は毎秒15トン55トン
の水量しかありません。毎秒70トンの温排水はこれら川の
水量の何倍もの巨大な川が突然、忽然と現われることを
意味します。



70が、どれくらい温度でしょう。私は熱い風呂が好きで
40のお風呂に入りますが、70あげて50のお湯にはこれを入れ
ません。70というのは大変な温度です。

上関原発は100万kw2基で、275万kwですから、一秒ごとに200ト
ンの海水を引き込むことになります。逆方向には環境破壊で
す。

○一年間の運転で原爆100発分の死の灰

広島に投下された原爆のウランの量は80g。誰もか軽々と
手に持てる重さです。核分裂というものはものすごい力です。

私は心から原爆を憎んでいます。しかし、それほどの力
があるものならうまく使えばすごい事ができるのじゃな
いかと高橋生の時考え、原子力工学科に入りました。

100万kwの原発一基は一年間に1トンのウランを核分裂させ
ます。

広島でたつた80gのウランが核爆発したことで、死の灰がバラ
まかれ、あれだけ多くの方が苦しみ、今も苦しみ続けます。

原発は一基で一年間に1トンの死の灰をつくる。これは、
広島の一原爆の100発分です。 ②

これはダメだとわかりました。それでいつか大きな事故を
起こすだろう。そしてたら大変なことになると考え、原発を
やめようかと決意しました。

○77基の原発はすべて自由民主党が認め、建てました。

「原発を推進している人達も原発の危険なことはわかっ
ていました。それでも念には念を入れて運転すれば大丈
夫だのではないかと期待しつつも、もしもの時の事を考
えて大都会から離れたところに建てることにしました。

こうして全10ヶ所に77基もの原発を造り、長い送電線
で都会に送ることにしました。

こんな不公平、不公正なことをやつてはいけません。

77基の原発はすべて自由民主党が認めて建て、つきました。

原発は本質的に危険です。電力100万kwのために200万kwの
熱を海に捨てることはすげえまじい環境破壊です。

○運転をどめても止まらない崩壊熱。

核分裂による熱は93%、残りの7%は崩壊熱です。死の灰自身から出す熱は21万kw。死の灰が出す熱は原発の核反応^核とめても止まらない。数度で使う電気器具は大きいものでも1kwです。その21万kw分の熱が勝手に出る。

福島事故でモーター3号機は運転中だったがすぐに止めました。しかし死の灰の熱で燃料棒が溶けて溶らました。

だから冷し続けなければいけなかったが、外部電源の鉄塔が地震で倒れ、非常用発電機は津波でストップ。電気が全部止った。

写真で見ると、2号機だけがまともに建っているように見えるが、それは建屋の壁がほすれ水まよが外に出て爆発をのがれた。しかし一番大量の放射性物質を放出したのは2号機だった。

4号機は止っていたが、使用済核燃料プールの水がなくなつて、燃料が溶けはじめたら関東地方に人は住めなくなるというところ、自衛隊がヘリで水を入れようとしたが放射能が強すぎて高度を下げられず、上空から落した水は霧散した。次は東京消防庁がポンプ車の水を入れようとしたが入らず、高所コンクリートパイプ車の水を入れた。

○福島事故は現在も進行中。

現在敷地内外で言葉にできない程の苦痛が続いている。

火力発電所の事故であれば、すぐに現場に行ける。

原発は10年たった今も近づけない。

ロボットは放射線に弱い。コンピューター言語は0と1しかない。にチワラに放射線がどどどと、1が0になつた。0が1になつたりして、命令がずれておかしなことをしまつ。

溶け落ちた燃料はどこにある。それがまた溶けると大変な事になるので、固めおくために水をかけ続けている。11年間ずつとやり続けている。かけた水は放射能で汚染される。

今、この瞬間にも300〜400人の労働者が現場で苦悶している。東電の社員とかはなく、下請けの労働者が被曝しながら働いている。

○原発の外も大変。

猛裂に放射能に汚染されたところは今も人は住めない。

ある日突然、手荷物だけもつてバスに乗せられ猫も犬も牛も何も捨て、いけと言われる。

避難所となった体育館などの床にビニールシートを敷いて寝る。その内仮設住宅に、みだし借上住宅へと移される。

福島は大家族で暮らしていた人が多かったのに家族はバラバラ、地域もバラバラになり、なりわいを失う。その数10万人。

猛烈に汚染したところからは強制避難させられたが、その他の汚染地にも今も何百人か捨てられたままになっている。

せめて子供だけはヒバクサせたくないと、お母さんと子供だけ避難して、お父さんは仕事のための福島に残るとかして生活はバラバラになり、心がぶち壊れる。そういう状態を多くの人が強いられる。

今や、福島には何の支援もない。



○汚染水。

原発の敷地内には汚染水がたまり続けている。

もともと、ここは海から30メートルくらいの高さの平らな台地で、飛行場があった。それを削って低くしてここに東電が原発を建てた。原発は外界から遮断されなければならぬ。建屋の中に雨水や地下水が流れ込んではいけない。

地下に遮水壁をつくろうという操業があったが、それには100億円かかるから6月の株主総会が通らないうえに、凍土壁をつくった。

それまで400トンの水が流れ込んでいた。凍土壁をつくと、まだ100数10トンの地下水が流れ込んでいる。

タニクワの容量は138万7500トン。

タニクの汚染水の70%がまだ処理の途中、もう一度処理して流すと言っているがそれもいつのしにたろう。トリチウムはH₂OのHが一つがトリチウムに置きかかわたもの。水になつているから取り除くのはむづかしい。だから海に流すしかないと言っている。

しかし、7.8号機を建てる予定だった拡大は土地があるし、コンクリートで固めるといふ方法もある。

国と東電は他の方法を取ろうとしない。
溶け落ちた燃料250トン、トリチウムの量は34ベクレル。

日本の使用済核燃料はすべて再処理するという計画になっている。1年間には200トンの使用済核燃料を再処理してそれに含まれる18ペタバケレルのトリチウムは海に流すという計画だった。これは日本の原子力政策の根幹にかかわる内容だ。

水は生命の根幹。水があるのうすべこの生き物は生きこいる。

1,2,3号機に340兆ベクレルのトリチウムがあった。事故後10年たつて19兆ベクレルになっている。タウには78兆ベクレルある。これを毎年22兆ベクレルずつうすめて海に流すと
言っているが、単純に計算しても20年までかゝる。
海に流すという一番容易な方法をとつても10年かゝる。

○福島事故で放出された放射能、原爆の16%分。

福島事故による死者はいないと言うが、40km離れたふたば病院では90人置き去りにされた患者が竹入の死と、フクシマの事故で放出された放射能は日本政府のIAEAへの報告によると、広島原爆の16%分。15x10¹⁰ベクレルのセシウムを放出した。

その大部分は偏西風によって太平洋に向って流れたが内陸部に向って流れた放射能もある。西と雪が降った猛烈な汚染地帯は強制避難になったが、福島県中を通り、栃木県北、群馬県、東京都の奥多摩も汚染された。
群馬県には10¹¹ベクレル、600ベクレル汚染もあつた。

私は東京大原子炉実験所でゆりていました。ゆりて7年ばかりです。

放射線管理区域で仕事するにはまじしい決りがあります。管理区域に入ったとたん水は飲めない、ものを食べられない、寝れない、トイレもない。管理区域の出口は必ず閉まっている。出る時には放射線測定器で測定し、10¹¹ベクレルを越えて汚れていれば、脱いでその中に4時間おなげればいけない。

この地図の澄んだ緑のところは3.4万ベクレル、濃く青のところは10万ベクレル、30万ベクレル、60万ベクレルの汚染です。中通りは60万ベクレルにも汚染されています。

法令を弁るならば、ここには人が住んではいけないので、国は「原子力緊急事態宣言」を出してここに人々を住わせた。11年たつた今も、解除されたりしない。

10年たつと、線量は10分の1に減ります。それでもまだ解除できません。

この事実には日本政府は口をつぐんでいる。マスコミも触れない。そういう中で子供達は生きこている。

放射線ガン死の年令依存性は、30歳を平均とすれば、老人になると、危険性は20分の1、80分の1と減る。一方の意見では4倍、5倍にはねあがる。

皆さんもこの事態に対して何がーの責任があるでしょう。しかし子供たちには何の責任もありません。

榎本ミサトさんの赤いつぶつぶのようには事実として放射線がある。そこで子供たちが普通の首を垂れしている。

感じることもなく、放射線の中で日々暮らしている。

○法治国家であるなら法律を守るべき。

「1年間にノミリシールベルト以上Eピクをさせるな」という法律があった。

しかしフクシマの事故が起きてしまった。

電力会社を原子力発電電に引きずり込んだのは国。国は特別措置法を乱発して人々をヒバクさせている。フクシマの事故に対して国も電力会社も責任を取っていない。

何の責任もない子供たちだけは放射能から守りななければいけない。

○避難計画とはふる里喪失計画ではない。

上原原発計画は1982年に始めて、2012年に1号機、2015年に2号機が運転開始の予定だった。

福島の人たちがずっと反対してこられたおかげで上原原発はできこいない。

フクシマの事故で放射能が拡散した地図を重ねる

と、祝鳥も配布施町も住めなくなりまう。
 フクシマの事故以前は、もし原発で事故が起きても放射能の放出を抑えると言われていた。
 しかし新規制基準ではもし事故が起きた時のために防災計画をつくることにした。

それは、それぞれの自治体で防災計画を立てようと言っている。
 つまり、事故が起きた後のことは住民の責任と言っている。避難計画とはふるさと喪失計画ではない。

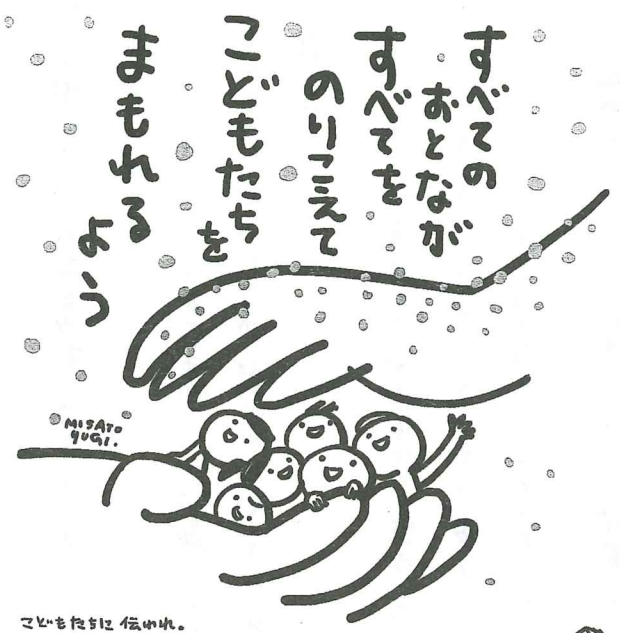
○東海2原発に運転差し止めの判決。

2021年3月17日、水産地裁は、避難計画が不十分で、人格権侵害の恐れが強いとして、運転差し止めの命じた。
 (ぼう)大が教の人を30km圏外に避難させることとしているが、一人一昼一食ほどの体積に押し込まれている内に、死んでしまう人、自ら死ぬ人も出てくる。補償はその内なる。

避難計画とはふるさと喪失計画ではない。
 /秒間に、2トン近い温排水を祝鳥に向けて放出するよう、上層原発を決して造らせなければならぬ。

○日本中で、原発を多量に受け入れたところより、追り返したところの方がはるかに多いのです。

地図より、追いついたところ54ヶ所。多量に受け入れてしまったところ17ヶ所。



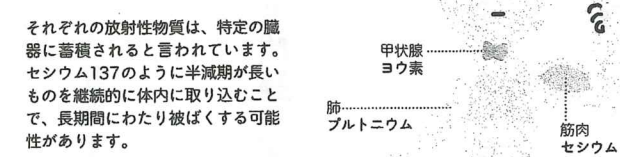
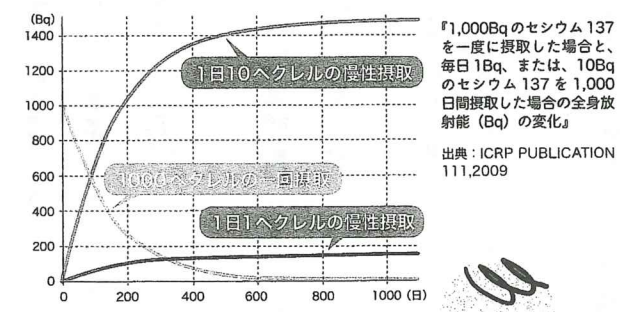
こどもたちに伝われ。みんな困難をのりこえていくおとなの姿。無かったらつらいなぞ知恩。追いついたかいないかおれを原罪に思えること。おきり出す立ち上がりつづける愛と勇気。あかたをとも愛していること。 絵・柚木ミナ

1027 「ほうしゅうき(ほんの)より。山崎山比早子・小原川勝見 監修

毎日の食事に気をつけよう

体内に入った放射性物質は、排泄物や汗などで排出されます。ただ、すべてがすぐに体から出るわけではなく、体内にとどまって放射線を出し続けるものもあります。

少しずつでも毎日食べ続ける方が、体にたまるんだって!



骨や臓器にたまるの?!

参考文献: 「食卓にあがった放射能」 高木仁三郎・渡辺美紀子著

イベント	日時	場所	問い合わせ先
憲法を守る山口集会 講演「壊憲と改憲の中29条を 活め」鈴木真澄さんの話 (龍国大名誉教授)	5月3日 13:30~15:30 無料	山口市民会館小ホール	山口不法律事務所 083-922-7600 Fax 083-922-7605
原発いっしょ!山口ネット77集会	5月8日(日) 13:30~	周南市役所北交流室	電話 0820-55-6291/114
朝鮮学校の補助金復活を! 県庁前座り込み	5月11日(水) 11:40~	県庁前広場	
「愛宕山に米軍住宅はいらない」 座り込み。(1日、11日、21日に座り込み)	5月11日(水) 10:00~2:00	愛宕神社前公園	主催 愛宕山を守る会
伊方原発 運転差し止めの裁判	5月19日(木) 14:00~	岩国支部	
安保法制違憲(違憲総が)の行動	5月19日	各地	
安保法制違憲訴訟山口	5月25日(水) 14:00~16:00	広島高裁	083-922-7600
初回自衛官合記拒否訴訟 最高裁判決抗議集会 鈴木政明 同朋大大学院特任教授の話	6月4日(土) 14:00~16:00	KDDI 維新ホール 会議室	主催 合記拒否の会

イベント情報

裁判のこと
 伊方原発運転差し止めの裁判(本訴14日)
 2022年5月19日(木)14時
 ○次回の裁判は7月14日(木)14時

■ 例会の報告(4月10日)

○参加地域 東広島市、田布施、光、下松、周南。

小中代表より

「コロナがなかなかおさまりません。私も先日咳が出たりしてドヤフとしました。軽い風邪でした。皆さんも充分お気を付けて下さい。」

上岡町では原発道路の建設も進み、上連業者は今ほうるおっているが、「そのまま仕事が続けられたいように一日も早く原発建設が決まることを願っている。」

私が上岡町に行つて原発反対の外直をやること「ゆめエーファ」と言ってくるのはいつも仕事関係者で。時にはマイクのエンドを引き抜かれたこともある。

中電は予定地の管理を続けているし、準備事務所も50人態勢で何のやりつけもしていない。決して油断できない。

かつては田布施町だけでも原発反対の会に150人も人がいたのに、3.11後は、「もう原発はごきんと」という噂が回りが広がり、反対運動に集まる人は減っている。

一方中電はいまだにやる気満々という状況です。4月17日には小出さんの話をよく聞いて「学んご地元の運動を強化し、山口県の原発反対運動の接着剤となっていくよう議論を深めましょう。」

② 4月4/10日は下松市議選の投票日です。

「先日『新周南』が立候補者に聞きとりをしていますが、上岡原発については「凍結」という答が殆んど。

「原発推進という答はほとんどなかった。『凍結』とは世論がこわいのぞ、「まあしっている言ひかた」と思ふ。」

「先日新周南に広島県の竹原市議会が「島根原発再稼働反対」の決議をしたとあった。(山陰中央新報) 原発事故からの避難者受け入れ対策を求められたことへの答えではないかと思ふ。痛快だ。」

「原発事故からの避難なんて不可能だと思ふ。上岡町で考えたらず道がかわれるかも知れず、海が荒れるかも知れず、一本道しかないの……。」

「ウツアアびの戦争をうけてすぐに立地県からは原発

への警備を固めるとか、山石国市民からはシェルターを作ってくれなどの声があがっている。

そんなことより、原発をつくらないこと、基地をつくらない事を考えるべきだ。」

「若い人がもと原発問題、その他政治問題に関心を持ってくれるといいんだけど……。」

「なのなゆとやがなのののの……。」

「周りが悪いはずはないけど、大人社会がそれを押さえてもつと……しているのののの……。」

×前広島法学者の「杯せつさん」の講演会のビデオを草木高校前の路上で生徒さんに渡しこいたり、教師が3人出て来て

「校長室にまこれ」と言う。

「公道上ビデオを撮りこ、なんぞ校長室に行くのか」と

言う。勿論行かなかった。

こういう状況だから母校で政治について語ることを自慢がスルー視されているにらびはない。

これでは民主主義に必要な政治意識は育たない。」

③ 4月2日「市民連合やまぐら」の総会があった。

この日、野党で上岡原発反対がまとまらなかった。

「丹産」「社民」「れいわ」「新社会」は上岡原発に反対だ。

連合は「原発推進」なので、「立憲」は「原発ゼロ」は言うが、

上岡原発反対は言わない。

市民連合で統一候補を立てるなら、何人の候補者の討論会を県内何箇所かで周りと支持の多い人を立てるようなことをしないと野党統一が票をとるのは難しいのではないのでは。

候補者選定の過程を見える化しないと県民の関心を集めることはできない。

今回の参院選はこのままだと野党統一は無理だろう。

④ 田の浦へ行くことについて。

「今年にはは海洋プラスチックの量が海の全魚類の重量を越えると言われています。」

「原発反対運動の時だけ田の浦に行くのではなく、2ヶ月

に一回くらい子供たちと海を楽しんで、ゴミを拾ったりしてはどうでしょうか。

集いの場の掃除も、いつも小中さんだけに任せたりするのは申し訳ないです。」

「昨日午つどい9場に319名にたまってたゴミは、柳井市民の会の皆さんその他の人々といっしょにすべて片付けてゴミに出しました。」

それぞ、これのうらほ決してゴミをためないようにはしなう。海岸のゴミも拾ったら必ず持ち帰るようにはしなう。とにかくたまると大変な事になるのだ。」

⑤ 賛同のお願い。

●「福島第一原発過労死裁判の最高裁判決が5月19日に行われます。公正な判決を勝ち取るために賛同署名への協力を呼びかけます。」

●団体署名しました。

●2011年度放射線副読本に因る要望書(案)に、

●団体賛同しました。

⑥ 島根原発のこと。

4市(松江、ま子、境港、)ご住民投票を求めらる署名を、法定数の10倍くらい集めたのに、すべて市議会が否決した。島取県(島根)事前了解権はあきらめたので、住民の同意は取れた形にはなった。ただ特設施設の仕事などがあるのが、稼働が可能になるのはまだまだ先になる。

⑦ 汚染水の海洋放出につき、全漁連の会長は反対を表明。(4/9の新南)

⑧ 温暖化は地球の危機だが、生物の種々ごんく絶滅に追い込まれていることも、生物種の「つごある人類」として大きな危機だとよばれる。

それで、生物多様性条約が、国際的に決められ日本も批准している。

2022年4月には中国の昆明で国際会議が開かれ、生物種の豊から生自心地を壊さないことが合意された。

その中ご、沿岸域の10名を海洋保護区とすることを決められた。

日本では沿岸域の2ヶ所が指定。その内4名は瀬戸内海にあります。

上関、祝島 13708号。八島 13707号。とご地図に黄色く塗られている。

環境省がご海を残さなくてはいけないと決めれば保存されるはず。これにつごは、

22.4.3. 環瀬戸内海会議主催のシンポジウム。

瀬戸内海は本当にきれいになったのか、の中ご湯浅一郎さんが語っています。このシンポジウムはyoutubeにはnssmの。

<https://www.youtube.com/watch?v=VE9onRM3ddo>

政流 22.3.30 PM

83歳の軍事評論家が言う。「軍人ボクスマンは『爆撃は的確に軍事施設を狙う。民家は安全で市民は安心して生業に従事している』と声明します。しかし航空搭乗員への命令書には『爆撃は必ずしも目標に直撃するを要せず。敵の人心を恐怖させるのを主眼とする』と記されています。」

ロシアのウクライナ侵攻では、キエフやマリウポリなどの病院学校、劇場といった民間施設へ無差別空爆、砲撃が続く。だが紹介されたのはウクライナではない。80年以上前に日本軍が中国で行った「重慶爆撃」の史実だ。今のロシアの主張、振る舞いとびつたり重なることに驚く。

重慶爆撃の検証、記録をライフワークとする前田新男さんに、ウクライナの事態をどう見るか話を聞いた。前田さんは「重慶爆撃」が最も新しい形で再現される目の前で進行している」と言う。

人間への「まなざし」欠く

1937年からの日中戦争で日本軍の攻勢を受けた蒋介石率いる中国国民政府は南京、武漢の陥落後、四川省の重慶に首都を移した。その重慶の市街地などを日本軍は38年ごろから数年間空爆する。中国側資料では死者が1万人以上ともされる。37年、スペイン内戦でナチス・ドイツが行った「ゲルニカ爆撃」は都市への無差別爆撃の嚆矢とされるが、1日限りだった。重慶爆撃は意図的、持続的、組織的に行われた「戦略爆撃」の最初の例として世界の戦史に刻まれることになる。

空からの攻撃は、ライト兄弟が03年に有人動力飛行に初成功した後、早くも14年からの第1次世界大戦で実戦に導入される。この「空の要塞化」がもたらしたものは、人間への「まなざし」を「徹底して欠いた戦争」だと前田さんは指摘する。

重慶爆撃の全期間中に、日本軍は一兵も重慶に姿を現さず、重慶市民は自分たちの命を奪おうとする日本兵の姿を目にすることがなかった。兵士も人間である。目の前の民間人に銃を向け発砲するのは相当な覚悟が要る。だが地上の阿鼻叫喚から隔絶された上空で、計器盤上の目標に対し爆弾投下のスイッチを押すなら、国際法違反の非人道的行為も機械的な作業になってしまう。

ゆえに空爆は、相手国民の戦意をくじき、指導部の足元を崩す「効率的」作戦として採用される。そして無差別、大量殺りへの意味になるといつのが前田さんの分析だ。残念ながらウクライナでこれが再現されている。

さらに前田さんが警鐘を鳴らすのが「ブーメラン効果」だ。重慶爆撃は東京空襲や広島、長崎への原爆と何倍にもなって日本に返ってきた。無法者を止めるのに無法で返せば無間地獄だ。それもまた歴史の重い教訓だ。

(共同論説委員・古口健)

イラスト・あらい太朗



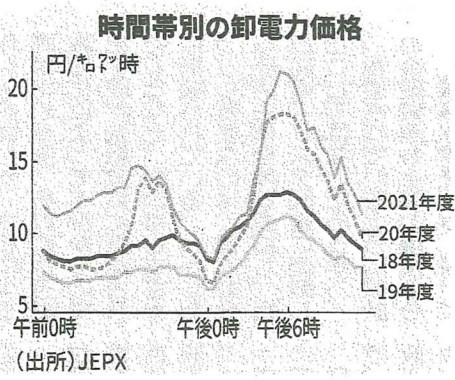
新聞記事より

- ・(4/10中口) 試運転9年かつ合格。福島第一原発汚染水浄化設備 ALPS。
- ・(4/10日経) 東北電力がより再エネ出力制御。最大30%を抑制。

- ・(4/14中口) 柏崎原発対策改善策「制限区域」の見直しに着手。東電。
- ・(4/15中口) エルブイリ近郊の村修繕におびえ。立入制限区域に隣接するホルノスタイロリの住民、恐怖の日々。

- ・(4/15日経) 北海道電力、ロシア産石炭代替調達。
- ・(4/15中口) 中電や東ソーが露産石炭切り替え検討。
- ・(4/15日経) メンバース(仮想空間) 電力を大量消費。ビットコインの採掘の年間電力消費量は9テラ(テラは1兆)ワット時。これは世界全体の電力消費量の約0.5%に相当。

- ・(4/15日経) 電力保障制度が混乱。東電など新規契約停止。小売り側産時、割高料金を供給。
- ・(4/16日経) 卸電力、一日の値幅2倍。3年ぶりの太陽光増収。最安値は3月に。



- ・(4/16日経) 電力8社が新規契約停止。

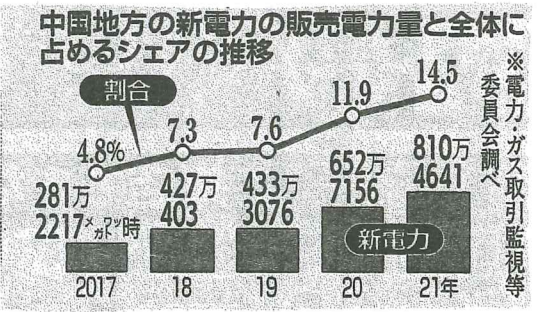
- ・(4/16日経) 処理水審査が実質終了。規制委未審放出開始へ。猶予なく。国内外から反発。求められる説明も責任。

- ・(4/17中口) 処理水海洋放出の折作業に懸念。
- ・(4/17中口) 原発の蒸気発生器、給水加熱器、燃料棒燃焼など、大型放射性廃棄物5万トン。経産省、海外処理を検討。(放射能廃棄物等安全条約、外国為替及び外貨管理法に基づき放射性廃棄物の輸出は禁止)

- ・(4/17中口) 出力制御が実施。中電NW、18万6000kWh規模。需要149万kWhに対して供給力80%が均等しないため。午18時〜午後4時まで。
- ・(4/19中口) 卸価格高止まり。各地続く新電力。燃料高止まりは年比2倍強。

- ・(4/19中口) CO2排出量達成へ業界平均負担20兆円。
- ・(4/19日経) 再生固定価格、中びみ生んだ10年。
- ・(4/20中口) 新電力中口地方撤退相次ぎ。高騰リスク対策で「おごり」。
- ・(4/20中口) 再生エネ管理へ。各省検討会。

4.20.中 再生エネ管理へ4省検討会
 萩生田光一経済産業相は19日の閣議後記者会見で、農林水産省、国土交通省、環境省と共同で、再生可能エネルギー発電設備の適正な管理に関する検討会を設置すると発表した。発電設備による災害への影響や、設備の不法投棄問題に対応し、導入拡大を目指す。21日に初会合を開き、夏ごろに対処策を取りまとめる。



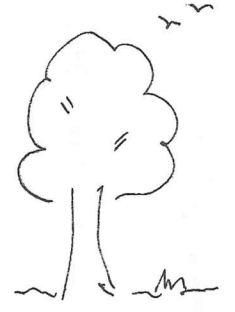
- ・(4/20日経) 太陽光発電の設置拡大。山林から平地に誘導。乱開発は正。政府が検討会。
- ・(4/20中口) 新電力が社撤退や休止。電力価格の高騰。
- ・(4/21中口) 太陽光パネル相次ぎ破損。力えが不投下?
- ・(4/21日経) 太陽光課税、事業者が反対。岡山県美作市が示例。国の判断に注目。
- ・(4/22中口) 蓄電池生産60ギガワット時に政府20年目標数10倍に拡大。

- ・(4/22中口) 新電力撤退で契約先未定の法人、保障供給利用40件(4/15時点)
- ・(4/22日経) 中国、原発6基建設認可。
- ・(4/22日経) 東京ガス電力小売1300万件に。
- ・(4/22日経) パネルの廃棄量は、30年代にピーク。経産省、使用済み太陽光パネルの廃棄量は2035〜37年にピークを迎え、産業界の最終処分量の1.7倍に達する。

パネルの廃棄量 30年代にピーク
 経産省、使用済み太陽光パネルの廃棄量は2035〜37年にピークを迎え、産業界の最終処分量の1.7倍に達する。7〜2.7%に相当するとの見通しを明らかにした。地域住民から「事業者が適切に廃棄すると思えない」といった懸念が寄せられており、同省は環境省などとリサイクルをほじめとした対応を検討する。

- ・(4/22日経) ロシア対策、動く欧州。ドイツは脱ロシア依存に向い、再生エネの導入を加速。英は「原発拡大」。
- ・(4/6中口) 海洋放出「反対派が少し」処理水。首相へ全漁連会長。岸田会長は「いっしょかも反対の立場に変わりはない」と岸田首相に官邸で伝えた。

- ・(4/9日経) 原発避難者の保険料免除縮小。来年度から。段階的に。医療や介護の保険料などの全額免除を 2023年度から。



鳥根原発2号機再稼働に関する記事

・(3/26中口)鳥根県知事、同意。7項目の条件を付けて、出立申請も同意表明。

・(3/29中口)鳥取県知事、「条件付同意」として、鳥根県に伝達。

・(3/30中口)中電工事計画の説明を22年8月から27月先延ばし。工事計画の認可は2023年5月以降に作る見込み。

・(3/30中口)鳥取県が来月、原子力3車門官を配置。
 ・(3/31日経)雲南市(鳥根県)再稼働へ同意。30日以内の同意が出せよう。

・(3/31中口)一県6市同意が出せよう。鳥根県が最終判断へ。

・原子力規制委、2号機の特重施設審査。

・(4/7中口)鳥取県知事、規制庁へ直呈し、再稼働安全確保を要請。

・(4/9中口)鳥取県と、ホ子、境港市、中電と新協定。

・(4/14中口)事実上の再稼働承認。鳥根県議会特別審で同意多数。

・(4/20中口)ホ子の市民団体、「原発住民投票案否決を受け解散」。

中国電力鳥根原発に関する中電と鳥取県側の新たな安全協定の骨子

- 計画や重要な変更について中電が事前報告し、県側の意見に誠意をもって対応する
- 核燃料物質の輸送計画の日時や経路を事前連絡する
- 安全確保に必要な場合、県は立ち入り調査ができる。米子市と境港市は立ち入って確認ができる
- 立ち入り調査を踏まえ、県は両市の意見を聴き、運転停止を含む適切な措置を要求できる

この項目は鳥取県知事は同意を。

地域のニュース

・(3/26中口)山口県職員、一万円会費、自民県連の政治資金パーティー。上司圧力常態化か。

政治資金規正法は公務員は地位を利用しての立派の販売などに用いてはならない。違法行為だ!

・(3/26中口)県上層部から「振り込んだ」と電話。振込用紙にナンバー。個人が特定される。

・(3/29中口)副知事の周子「前から」自民パーティー費山口県知事が明言。調査はしない方針。

中知事が決める事が、同じく同じく同じく。

・(3/29中口)美和が建設進むメガソーラー。安全対策は協定を締結へ。

土木工事の割以上終了。南苑に伴い、水が汚染され、土砂が

田へ流れるなど、地元民懸念。



・(4/1中口)周防大島沖アワサコ。浮泥大量発生に影響。環境省が調査報告書。



・(4/2中口)自民県連知事に100万円。2日県知事選で寄付。100万円は山口県方村肉類。収益の一部還法か。

中村周知事は「前日からあったよう」と、まると他人事?。まるとは知事にあります。

・(4/5中口)参院選に向け、口民民主県連野党統一候補不参加へ。大内一也氏の擁立発表。

・(4/5中口)衆院選3区の公選法違反及事件台け、県道報制度を改正。取捨外勧誘も明確に。

・依頼者特定など全容説明を要請。県に公害県審議会など。

・(4/7朝日)鷗んアサリを救う。干潟にまいたウ。収穫量は増えた。岩島の村岸大野町。

・(4/9中口)国政選挙で自民党候補者の集会に出席しよう山口県の幹部が働きかけたこと8日、判明。山口県知事は調査はしないと。

中公取選法違反でしよう!

・(4/14中口)参院選、立憲公認、秋山氏が候補表明。

・(4/17中口)三陽発電所試運転再開。(火力100%、浜田)4日にトランプが止めたもの。

・(4/22中口)沖繩の伝統船「サバニ」進水。平生町の船主。

沖縄の伝統船



平生町の瀬戸内海を進むサバニ

シーカヤック隊の隊長、上岡原を建てた山口大果会の実行委員長と、自E上岡原に立ち向った原さんは、世界中の海をカヌーで旅してきました。その原さんが、沖縄県の伝統的な木製の帆掛け船「サバニ」を完成させ、4/21進水。5月28、29日に四名乗組で試乗会を開く。世界中の海を旅してきた、この周防灘の海が一層きれいだったという言葉は、田中市長を守りたい私たちにとって大きなエネルギーになっている。

民の声新聞

【11年目の汚染水はいま】

「福島県漁連との約束 反故にしないが 海洋放出計画もやめない」

2022/03/30 (抜粋)

国と東電が多くの反対意見を無視して「原発汚染水海洋放出計画」の準備を進めている問題で、海洋放出をやめるよう求める市民団体共同の政府・東電交渉が29日午後、東京・永田町の参議院議員会館で行われた。エネルギーの官僚や東電の担当者らが出席したが、何を尋ねても用意したペーパーを読み上げるに終始。来年からの海洋放出方針は意地でも変えない姿勢に、福島県いわき市から参加した男性は、怒りの声をあげた。



「ていねいな説明続ける」

言質をとられぬよう余計なことを言わないのは国や東電の常。原発避難者の住宅問題に関する政府交渉でも、同じような場面を何度も目にしていた。そして今回も、木で鼻をくくったような発言が繰り返された。

例えば3つ目の質問「福島県漁連との約束に反するのではないか」。

国と東電は2015年、福島県漁連への文書で「関係者の理解なくしていかなる処分も行わない」と明記している。県漁連が反対を貫いている現状は決して「理解を得られた」状況とは言えない。しかし、東電「福島第一廃炉推進カンパニー」の担当者は「当社と致しましては、福島県漁連様との約束を反故にすることは考えてござ

いません」としたうえで、「漁業者の皆様をはじめ地元の方々や、関係する皆様へのていねいな説明などを行い1人でも多くの皆様のご懸念を払拭し、ご理解やご信頼を賜れるよう努力を続けてまいりたい」と繰り返すばかりだった。

「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」（美浜の会）代表の小山英之さんが「関係者の理解が得られない以上、いかなる処分も行わず敷地内タンクに貯留すると理解して良いか?」、「県漁連の賛同を得られない場合はいったん止めるのか。それとも、どうしても計画通り実施していききたいという考えなのか?」、「2015年の書面に『関係者の理解なしにいかなる処分も行いません』と書いてある。この理解でよろしいか?」と質しても、東電側は用意したペーパーを読み上げることに徹した。

「当社としては関係者の皆様にご理解を深めていただけるようしっかりと向き合い、ご説明を尽くしてまいり所存でございます」

「当社と致しましては、関係者の皆様にはまずご理解を深めて頂けるようしっかりと向き合っており、ご説明を尽くしてまいりたいと考えております」

「関係する皆様へのていねいな説明などを行いまして、ご懸念を払拭し、ご理解やご信頼を賜れるよう努力を続けてまいりたいと考えております」

小山さんが「関係者の理解を得られないときには処分を行わないということですね?」と念を押しても、答えは変わらなかった。

「ご理解やご信頼を賜れるよう努力を続けてまいりたいと考えております」

「ご理解やご信頼を賜れるよう努力を続けてまいりということでございます」

海洋放出方針を決めてから理解を得るという矛盾に気付いているはずだが、それでも強行突破しようというのが国と東電なのだった。

「【県漁連は放出の必要性理解】」

経産省エネルギー庁「原子力発電所事故収束対応室」の官僚に至っては、「福島県漁連の理解」を得られない場合の対応について「仮定の話なので答えることができない」と言う始末。東電と同じく「われわれ政府としては、まずは県漁連の皆さんからご理解をいただくよう誠心誠意取り組んでいくこと。これが最も重要だと考えておりますので、われわれとしても引き続き様々な取り組みを行っていききたいというふうに考えております」と答

えるばかりだった。

「海洋放出にあたっては福島県漁連皆さんのご理解を得るということが非常に大切という考えは一貫して変わらない。昨年4月の政府基本方針決定以降、福島県漁連の皆様からはALPS処理水の安全性であったり風評対策の内容などについて、たびたびご説明や意見交換の機会をいただいている。県漁連の皆様としては放出による風評影響を非常に懸念されているというところでございますので、引き続きご説明を重ねて、そういったご懸念を払拭してご理解を得られるように努めていきたい」

官僚はまた「福島県漁連の方々とお話をしておるところでは、当然復興にあたっての廃炉の重要性だとか、その一環であるALPS処理水の処分をしなければならぬものだというところはご理解いただいている」とも話した。

「海洋放出を行う時期まで1年程度時間がある。その時間をしっかりと活用して、ご理解いただくための準備を進めていきたい。やはり風評被害の発生をかなり懸念されている。そこを払拭できるように、われわれとしても東電さんとしても、しっかりと取り組んで行く所存でございます」

エネルギー幹部との意見交換会を続けている「これ以上海を汚すな!市民会議」は、反対意見もきちんと伝える形での公聴会を国の責任において福島県内市町村で開くよう再三にわたって求め続けている。

しかし、エネルギーの官僚は「ご指摘の『公聴会』が具体的にどういうものを指しているのかちょっと明らかではない」とぼけたうえで、次のように繰り返した。

「われわれの方からご説明をさせていただきたいとお願ひするの当然ですが、逆に皆さんの方から説明して欲しいというお願ひをいただいたときには可能な限りご対応させていただいているところでございます」

「形式にこだわる必要はないと考えております。形式にこだわらず、様々な方法で皆様にご説明できる機会を考えていきたい」

形式にこだわらないのなら公聴会を何度でも開けば良い。しかし、それはやらない。

【海外からも反対の声】

福島県いわき市から駆け付けた米山努さん（「これ以上海を汚すな!市民会議」）は「説明をしていけば仮に約束を反故にしてもかまわない、説明をしていけば良いんだというふうに言っているようにしか受け取れませ

ん。だって既にお金もかけて準備を進めているんですから。私たちの意見は無視するということなのだろう」と語気を強めた。

「美浜の会」の島田清子さんは「口だけかもしれないが『福島県漁連との約束を反故にすることは考えていない』という点は確認できた。皆さんから厳しい意見も出たし、東電や官僚は『反対』を肌で感じたと思う。ぜひ公聴会開催につなげて欲しい」と感想を口にした。

また、リモート参加した織田千代さん（「これ以上海を汚すな!市民会議」共同代表）も「私たちは次の世代のことまで考えて話をしている。おかしいことはおかしいと追及するしかない。それに『福島の人たちが望んでいるから海に流すしかない』というような言われ方をされるのはとても心外。ひとくくりにはしないで欲しい」と語った。

「福島県だけの問題ではないのだから、全国で公聴会を開くよう国に求めていく」との声もあった。

交渉は「これ以上海を汚すな!市民会議」、「避難計画を案ずる関西連絡会」、「国際環境NGO FoE Japan」、「原子力規制を監視する市民の会」の呼びかけで行われ、事前に提出していた7項目の質問書に沿って進められた。冒頭で海洋放出しないよう求める要望書を提出した。要望書には賛同した国内外225団体の名前も添えられた。

賛同団体からは「将来にわたって全世界の海を汚し続けることになる」（岐阜県）、「決定のプロセスに問題がある。白紙撤回して再度、検討しなおすべき」（宮城県）、「薄めて流しても放射能を含んだ水に変わりはない。そのままタンク保管してください」（兵庫県）、「いったん海に流してしまったら回収できず取り返しがつかない。これ以上、汚染を拡げないで」（京都府）、「都合の良い情報だけでなく、危険性を指摘する研究者の声に真摯に耳を傾けて」（香川県）、「安易に海洋放出することに反対します」（長野県）、「有機結合型トリチウムは生体凝縮し、食物連鎖に取り込まれ、経口摂取による内部被曝の原因になる」（フランス）、「汚染水は安全性が確認できるまで、それを生み出してしまった企業と、認可を与えた政府の責任で保管管理するのが妥当な処理方法だ」（スイス）、「限りなく努力して環境への負荷を減らすことが大切だ」（ドイツ）などの意見が寄せられている。（了）

2022年4月10日作成 「アヒンサー」
（目からウロコ FC2 アヒンサー）

*アヒンサーとは、サンスクリーン語で「殺されたくない、殺したくない」という意味です。